

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	シール目地防水性能向上小委員会	主 査 名：山田 人司 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主 査 名：輿石 直幸
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>外壁接合部シール目地の防水性能向上のための新技術を活用した材料の耐久性向上、調査診断手法、改修の評価手法の確立を目的とする。</p> <p>初年度：シーリング材とガスケットの耐久性評価・調査・改修技術の開発、技術指針等の改定方針の検討</p> <p>2 年度：シーリング材とガスケットの耐久性評価・調査・改修技術の開発、技術指針等の改定方針の決定</p> <p>3 年度：シーリング材とガスケットの耐久性評価・調査、性能設計法・改修技術等の精査</p> <p>4 年度：外壁接合部のシール目地防水性能向上技術の提案</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：山田人司 (日本建築総合試験所)</p> <p>幹事：添田智美 (フジタ)、松尾隆士 (清水建設)、宮内博之 (建築研究所)</p> <p>委員：伊藤彰彦 (オート化学工業)、川端芳英 (北星ゴム工業)、 佐々木哲也 (高橋カーテンウォール工業)、菊地裕介 (建材試験センター)、 高橋愛枝 (大成建設)、鳥居智之 (サンスター技研)、中島亨 (カネカ)、 八田泰志 (セメダイン)、小野清人 (LIXIL)、野口修 (マサル)、 福井宏 (横浜ゴム)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>シーリング材耐久性評価技術 WG：シーリング材の耐久性評価技術の開発</p> <p>シール材接着耐久性 WG：シーリング材の接着性評価・改修技術の開発</p> <p>ガスケット WG：ガスケットの性能評価技術の開発</p> <p>技術指針改定検討 WG：「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説」の改定方針の検討</p>	
2020 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. シーリング材、ガスケットの耐久性評価方法の提案 (建築学会大会 4 編)</p> <p>2. ガスケットのリップ部の簡易水密性評価法の提案 (構造系論文集 1 編))</p> <p>3. 技術指針の改定方針のための WG の設置</p> <p style="text-align: right;">以上、当初目標を達成</p>
委員会活動の問題点 ・課題	